

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電子情報4年	科目コード	47011214
科目名	文化比較論 Comparative Culture				
担当教員	久保田 和男				
単位数(時間数)	選必 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応			
授業の目的と概要	1. 中東・欧州の歴史を比較文化論の観点から検討する。 2. 宗教問題を中心に据える。特にキリスト教とイスラム教を文化比較によってを理解する。 3. ユダヤ人の歴史について知識を得、文化比較論の視点からパレスティナ問題を考える。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考					
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	オリエンタリズム・オリエント文明・比較文化論	2	オリエンタリズムを理解し比較文化論の視座を考える。		
2	アケメネス朝ペルシャ帝国と宗教：ゾロアスター教	2	ゾロアスター教やユダヤ教に見られる世界観を理解する。		
3	ギリシャ文明	2	ギリシャの多神教を一神教的な視座から比較する。		
4	ギリシャ哲学	2	ギリシャ哲学の西洋世界に与えた影響を考える。		
5	ヘレニズム時代と諸宗教	2	アレクサンドロス大王の東方遠征の意味を知る。仏教と西方文化との出会いが何を生んだのかを考える。		
6	ローマ共和国 ローマ帝国の成立	2	共和政時代のローマの発展と理解する。ローマが生み出した法文化を理解する。		
7	ローマ帝国の衰退とキリスト教。三位一体説。異端	2	ローマ帝国とキリスト教徒の関係を理解する。		
8	ゲルマン民族とキリスト教。カール大帝とローマ教	2	西ヨーロッパ世界の成立を宗教面から理解する。		
<b>前期中間試験</b>					
9	イスラム教の成立と、イスラム教との生活	2	イスラム教について一定の理解をもつ。		
10	十字軍の開始と展開	2	イスラム圏にキリスト教徒との対立と交流が、今日の世界にどのような影響を与えていったのかを考える。		
11	モンゴル帝国とヨーロッパ	2	モンゴル帝国時代の東西交流とキリスト教徒の関わりについて理解する。		
12	オスマントルコとヨーロッパ	2	オスマン帝国がヨーロッパにとっていかに巨大な存在であったか理解する。		
13	ヨーロッパにおける主権国家体制とユダヤ人	2	主権国家の成立と内容からユダヤ人迫害を理解する。		
14	ユダヤ人と近代ヨーロッパ	2	近代ヨーロッパ世界の成立による、人権とナショナリズムをユダヤ人問題から考える。		
15	中東紛争	2	イスラエルの建国に始まる深刻な対立について概要を知る。		
<b>前期期末試験</b>					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	西洋史上の大きな変化を理解できていること。西洋の歴史地理的な基本的な知識を理解していること。これらを満足することで、学習・教育目標のA-1の達成とする。				

成績評価	2回の定期試験の成績（70％）と授業への取り組む姿勢（30％）を判断して評価する．合計の6割以上を獲得した者を，A-1を達成したのものとして，この科目の合格者とする．ただし、授業への取り組む姿勢については、ノート点検によって評価する．
教材	『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）を持参すること。 参考書：『世界の歴史』（講談社） 高橋政男 『物語イスラエルの歴史』（中公新書） 鈴木輝二 『ユダヤエリート』（中公新書）
オフィスアワー	月曜日16:00~17:00 一般科棟1F東 社会科教員室 2